

セールスフォース環境で帳票開発をするなら



～ 操作マニュアル ～

ReportsConnect for Salesforce

Force.com標準機能では帳票を自由にデザインすることが困難です。
KPSの「ReportsConnect for Salesforce」は自由で快適な帳票開発を約束いたします。

主な特徴

- ・セールスフォース環境に柔軟な帳票開発環境を提供します。
- ・セールスフォース標準のレポート機能では困難だったさまざまな用途の帳票、伝票印刷が可能になります。
- ・1回の印刷要求あたり3ページまで、無料で印刷サービスが使用できます。
- ・ユーザ外字の使用が可能です。
- ・IPAmj明朝フォント約25,000文字分に対応しています。
- ・セールフォースCRMやForce.comアプリケーションから自由に帳票出力
- ・帳票デザインツール iReportを使用してGUIで帳票デザイン
- ・oAuth2.0認証でセキュリティ対策も万全です。

公式サイト

<http://techsupport.kpscorp.jp/rc>

| | |
|--|-----------|
| 1. はじめに | 03 |
| 1-1 帳票作成6ステップ (1~3) | 03 |
| 1-2 ご利用前にご確認ください | 05 |
| 1-3 インストール方法 | 06 |
| 2. 操作説明 ～帳票作成～ | 07 |
| 2-1 帳票の新規作成 | 07 |
| 2-2 データソースの作成 | 10 |
| 2-3 CSVデータソースの読み込み | 13 |
| 2-4 帳票レイアウトの作成 | 16 |
| 2-5 jrxmlファイルの登録 | 20 |
| 2-6 印刷テスト | 22 |
| 2-7 補足 | 23 |
| 3. 操作説明 ～アプリケーションへの実装～ | 24 |
| 3-1 RPCConnectコンポーネントを使った簡易実装 | 24 |
| 3-2 SOQLを動的に変更する | 25 |
| 3-3 パラメータを帳票に出力する | 26 |
| 3-4 Apexから印刷要求を行う | 28 |
| 3-5 帳票PDFを任意のオブジェクトに添付する | 29 |
| 3-6 複数の帳票をひとつのPDFにまとめて出力する | 30 |
| 4. 操作説明 ～ライセンス管理～ | 31 |
| 4-1 ライセンス管理画面を表示する | 31 |
| 4-2 ユーザーにライセンスを割り当てる | 33 |
| 4-3 ユーザーにライセンスを割り当てる (OEM向け) | 34 |
| 5. こんなときは | 35 |
| 5-1 帳票保存時に「エラー：設定が必要です！～」と表示されたら | 35 |
| 5-2 ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら | 36 |
| 5-3 帳票テスト時にエラーが発生したら | 37 |
| 6. お問い合わせ | 38 |

1 - 1 帳票作成6ステップ (1~3)

Step1

ReportsConnect開発画面で新規帳票ボタンを押す

➡ P.07 [帳票の新規作成]



Step2

帳票にデータ読み出しのSOQLを設定

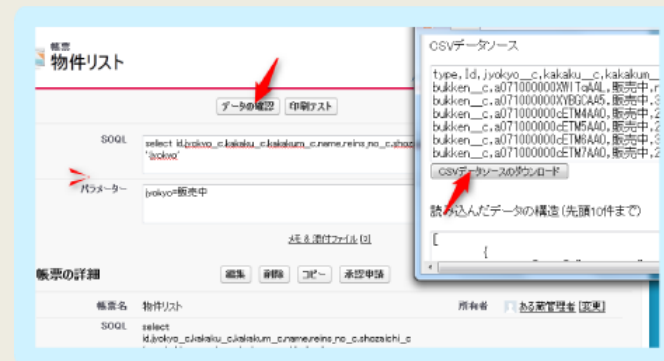
➡ P.09 [帳票の新規作成(続き)]



Step3

データの確認ボタンを押してFile CSV Datasourceをダウンロード

➡ P.10 [データソースの生成]



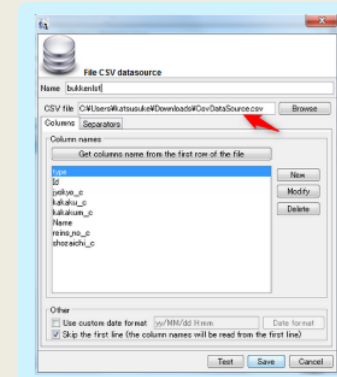
1. はじめに

1 - 1 帳票作成6ステップ (4~6)

Step4

帳票デザインツールiReportで、File CSV Datasourceを読み込みfieldを自動生成

➡ P.13 [CSVデータソースの読み込み]



Step5

iReportでfieldを配置して帳票デザイン

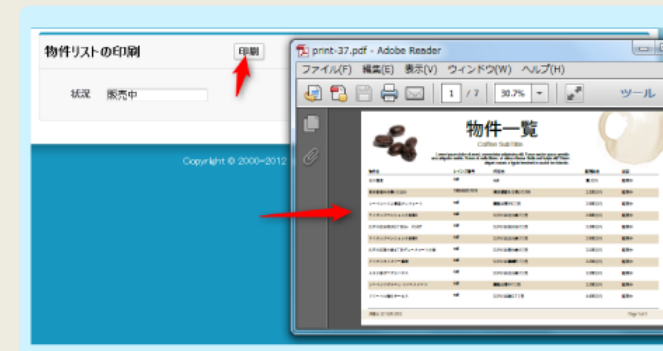
➡ P.16 [帳票レイアウトの作成]



Step6

iReportで作成した帳票ファイル(.jrxml)をReportsConnect開発画面で帳票に登録

➡ P.20 [jrxmlの登録]



1 - 2 ご利用前にご確認ください

I . ReportsConnect for Salesforceライセンスについて

ReportsConnectのライセンスと料金は下記の通りです。

| ライセンス | 1 印刷要求あたりの ページ数制限 読込データ量制限 | 月額使用料 |
|-------|-------------------------------|---------------|
| free | 3 ページ (注 1) 200kb | 無料 |
| basic | 200 ページ 1,000kb | ¥5,000/1 ユーザー |

※以下追加ユーザーライセンス（使用には1組織にbasic1ユーザのみ別途必要です）

| ライセンス | 1 印刷要求あたりの ページ数制限 読込データ量制限 | 月額使用料 |
|-------|-------------------------------|---------------|
| lite | 30 ページ 500kb | ¥1,500/5 ユーザー |
| pro | 200 ページ 1,000kb | ¥1,000/1 ユーザー |

※注1 : Developer Editionの管理ユーザーの場合は20ページ 300kb
OEMアプリへの組み込み、サーバーの個別構築等のご要望は、別途ご相談ください。

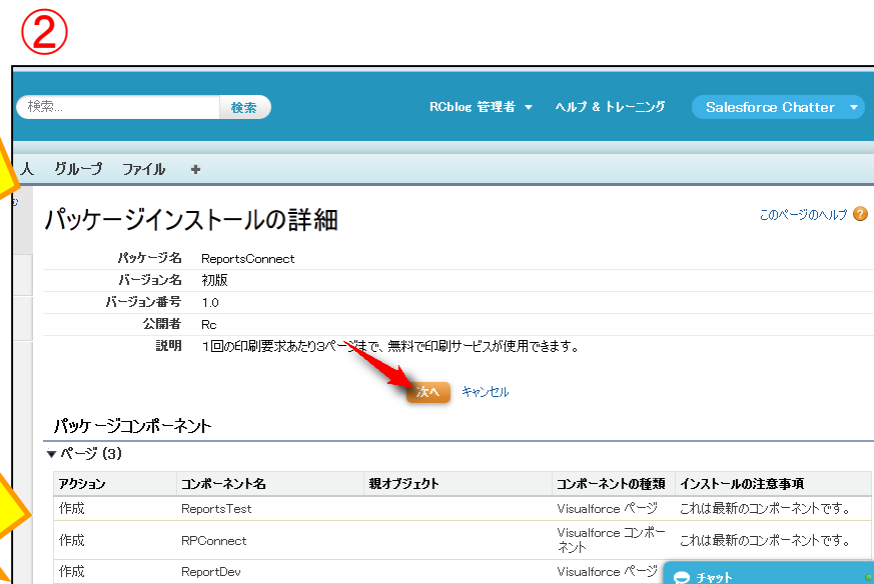
II . iReportについて

iReportはSourceForge.netで開発が行われているオープンソースの帳票デザインツールです。
Reports Connectでは***iReport-3.7.6***を使用していただく必要があります。

↓ iReport-3.7.6はこちらからダウンロードすることが出来ます。↓
<http://sourceforge.net/projects/ireport/files/iReport/iReport-3.7.6/>

1-3 インストール方法

- ① [ReportsConnect公式サイト](#)内のダウンロードページの「利用規約に同意してダウンロード」を押します。
※事前にSalesforce環境にログインする必要があります。
- ② 「次へ」ボタンを押します。
- ③ サードパーティアクセスの承認画面が表示された場合、「はい、これらのサードパーティWebサイトにアクセスを許可します」にチェックを入れ、「次へ」ボタンを押します。




2-1 帳票の新規作成

帳票印刷機能を新規に作成する手順です。


- ① 「帳票」タブを開きます。
- ② 「新規」ボタンを押して、帳票レコードを1件作成します。

①



The screenshot shows the Salesforce Reports Connect interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'Chatter', 'プロフィール', '人', 'グループ', and 'ファイル'. A red arrow points to the '+' icon in the top right corner of the navigation bar. The main content area is titled 'すべてのタブ' (All Tabs) and lists various tabs. The '帳票' (Reports) tab is highlighted with a red arrow. Other tabs include Chatter, Data.com, Site.com, アイデア, アンサー, キャンペーン, グループ, ケース, コンソール, ソリューション, ダッシュボード, ドキュメント, ファイル, プロフィール, ホーム, リード, レポート, 契約, 取引先, 取引先責任者, 商談, 商品, and 売上予測.

②



The screenshot shows the '帳票' (Reports) tab interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'Chatter', 'プロフィール', '人', 'グループ', and 'ファイル'. The main content area is titled '帳票 ホーム' (Reports Home). Below the title, there is a 'ビュー' (View) dropdown menu set to 'すべて選択' (Select All) and a 'Go!' button. To the right of the 'Go!' button, there is a link '編集 | 新規ビューの作成' (Edit | Create New View). Below this, there is a section titled '最近使った帳票' (Recently Used Reports). A red arrow points to the '新規' (New) button in this section. The '最近使った帳票' section lists '帳票名' (Report Name) with '物件リスト' (Property List) and 'ユーザーリスト' (User List) as examples. To the right of the '最近使った帳票' section, there is a dropdown menu labeled '最近参照したデータ' (Recently Referenced Data).

2-1 帳票の新規作成


～「新規帳票」画面説明～



- 帳票名 : 帳票の名前です。※必須項目
- ファイル名 : ダウンロードされるPDFファイルの名称を事前に設定出来ます。
- 親JRXMLファイル名 : SubReportを使用する場合、親となるJRXMLファイル名を指定します。
- 管理用レコード : チェックをONにすると、この帳票に添付されたリソースが全ての帳票にも適用されます。
- Nullを空文字に置換 : データがNullの場合、空文字として返します。
- 親帳票 : 他の帳票と連結してPDFに出力する場合、親となる帳票オブジェクト名を指定します。
- 連結順 : 他の帳票と連結してPDFに出力する場合、結合する順番を指定します。
- idパラメータのオブジェクトに添付 : チェックをONにすると、PDFファイルを直接ダウンロードせず、
"id"パラメータで指定されたオブジェクトにファイルが添付されます。
- SOQL : データを読み込むためのSOQLです。
- パラメーター : 開発時に、リクエストパラメータを設定した状態で動作確認が出来ます。
key=valueの形式で複数行設定出来ます。

2-1 帳票の新規作成 (続き)

- ③ SOQL欄にデータを読み込むためのSOQLを入力します。
- ④ 「保存」ボタンを押して帳票を保存します。



注意

- ※ 1 帳票上でグルーピングする場合は、グルーピングするカラムでデータがソートされている必要があります。
- ※ 2 初回保存時、エラーメッセージが表示されることがあります。メッセージに従って設定を行ってください。
→参照:P34 (帳票保存時に「エラー：設定が必要です！～」と表示されたら)

2-2 データソースの作成

帳票レイアウト作成に必要な、CSVデータソースを生成する手順です。

① 作成した帳票オブジェクトを開き、「データの確認」ボタンを押します。

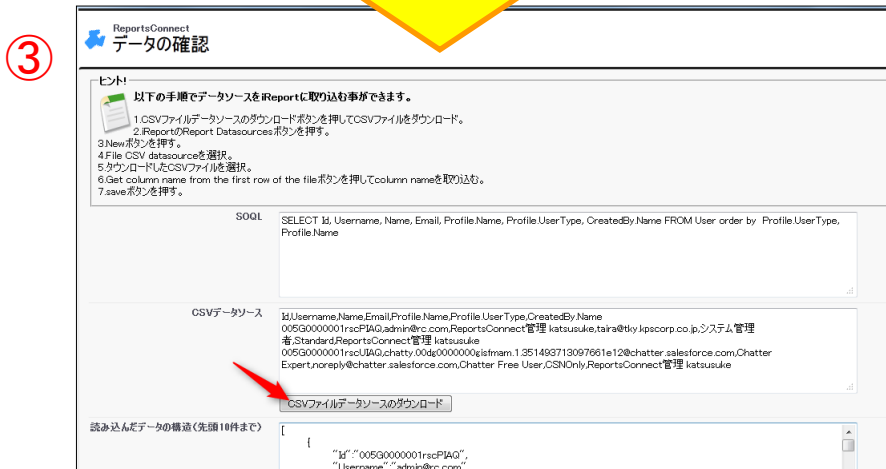


注意

- ※ お使いのブラウザのポップアップブロック設定が有効になっている場合、正しく画面が表示されない場合があります。ポップアップブロック機能の解除を行ってください。
- ※ 初回実行時、oAuth2.0の認証機能により、データへのアクセス権限を要求してきます。内容をご確認の上、「許可」ボタンを押してください。
→参照:P35 (ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら)

2-2 データソースの作成 (続き)

- ② 印刷処理中の画面が一定時間表示されます。
- ③ データの確認画面が表示されます。
「CSVファイルデータソースのダウンロード」CSVファイルをダウンロードします。




2-3 CSVデータソースの読み込み


操作説明 2-2 で生成したCSVファイルをiReportに読み込ませる手順です。

- ① iReport-3.7.6を起動します。
- ② 「Report Datasource」 ボタンを押します。
- ③ データソース管理ダイアログが表示されます。

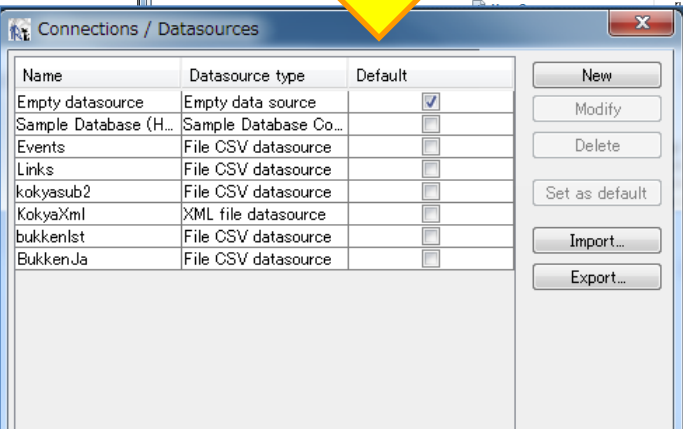
①



②



③

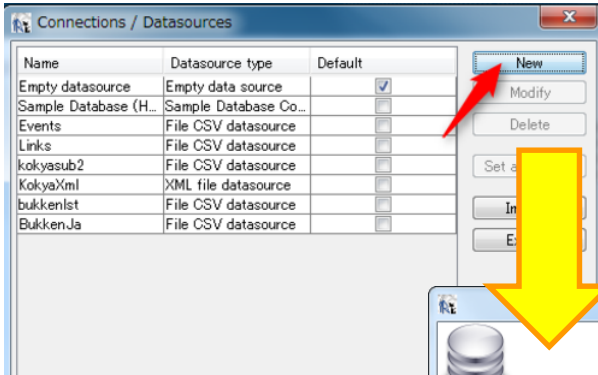


| Name | Datasource type | Default |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| Empty datasource | Empty data source | <input checked="" type="checkbox"/> |
| Sample Database (H... | Sample Database Co... | <input type="checkbox"/> |
| Events | File CSV datasource | <input type="checkbox"/> |
| Links | File CSV datasource | <input type="checkbox"/> |
| kokyasub2 | File CSV datasource | <input type="checkbox"/> |
| KokyaXml | XML file datasource | <input type="checkbox"/> |
| bukken1st | File CSV datasource | <input type="checkbox"/> |
| BukkenJa | File CSV datasource | <input type="checkbox"/> |

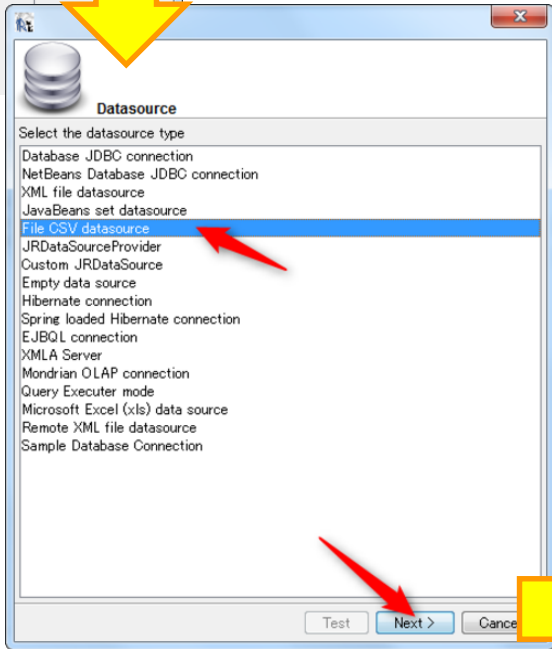
2-3 CSVデータソースの読み込み (続き)

- ④ データソース管理ダイアログ上の「New」ボタンを押します。
- ⑤ 次画面で、DatasourceのTypeとして、「File CSV datasource」を選んでNextを押します。

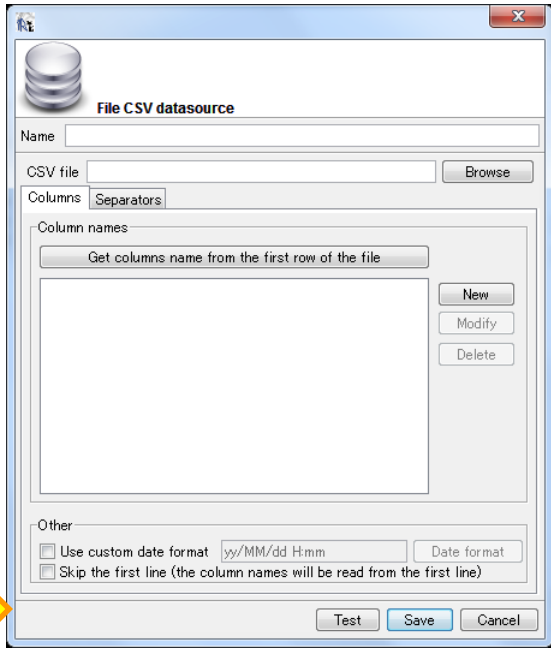
④



⑤



⑥



The 'File CSV datasource' dialog box contains the following fields and options:

- Name: [Text field]
- CSV file: [Text field] with a 'Browse' button
- Columns: [Text field]
- Separators: [Text field]
- Column names: [Text field] with a button 'Get columns name from the first row of the file'
- Other:
 - ☐ Use custom date format [Text field] Date format
 - ☐ Skip the first line (the column names will be read from the first line)
- Buttons: Test, Save, Cancel

2-3 CSVデータソースの読み込み (続き)

- ⑥ CSV file欄に、事前に用意したCSVDataSourceファイルを指定し、「Get columns name from the first row of the file」ボタンを押します。
- ⑦ Name欄に任意のデータソース名を入力し、「Save」ボタンを押します。
- ⑧ 「Report DataSources」ボタン横のリストに作成したデータソース名が表示されます。

The image contains three screenshots from the JasperSoft iReport Designer 3.7.6 application, illustrating the steps to create a CSV data source.

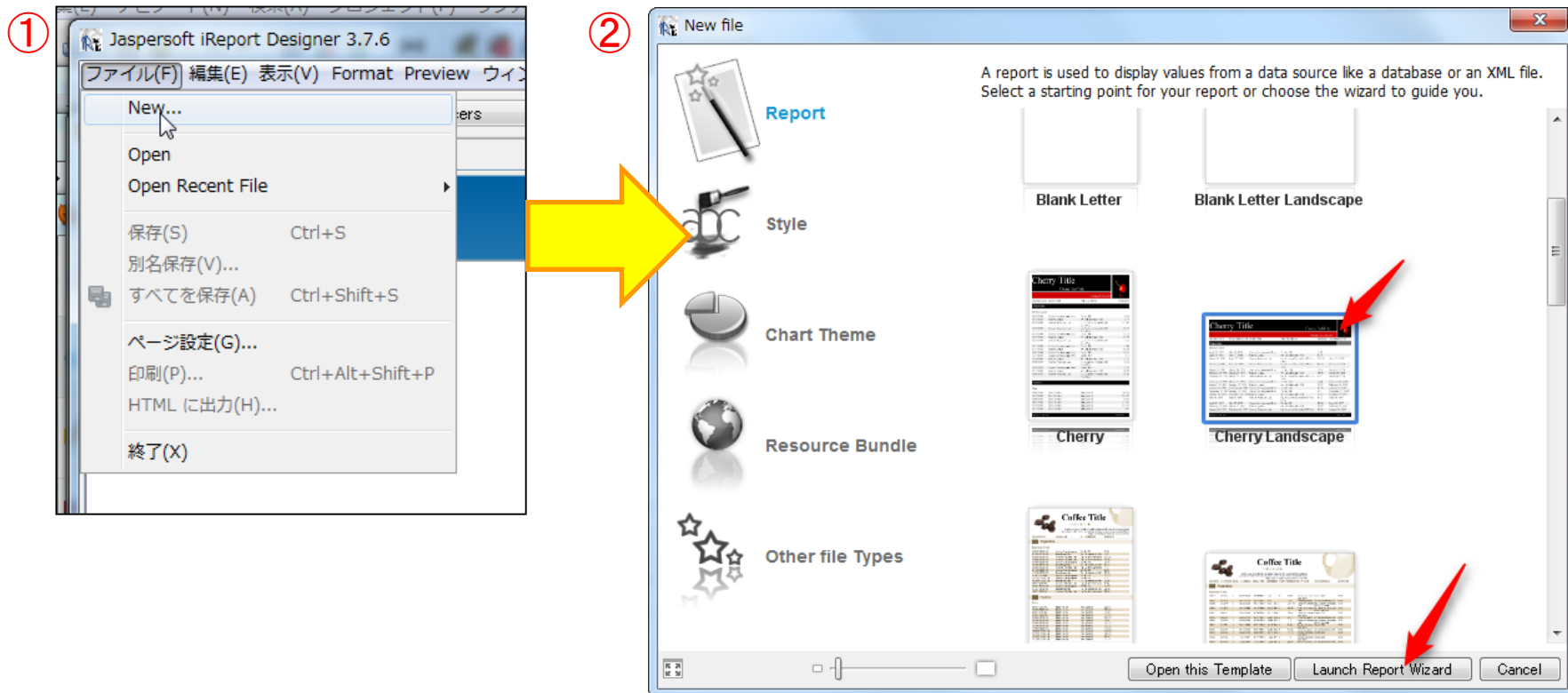
- ⑥** The 'File CSV datasource' dialog box is shown. The 'Name' field is empty. The 'CSV file' field contains 'C:\Users\Wkatsusuke\Downloads\CsvDataSource.csv'. The 'Get columns name from the first row of the file' button is highlighted with a red arrow.
- ⑦** The 'File CSV datasource' dialog box is shown again. The 'Name' field now contains 'Users'. The 'Skip the first line (the column names will be read from the first line)' checkbox is checked. The 'Save' button is highlighted with a red arrow.
- ⑧** The 'Report DataSources' list in the 'Welcome Window' is shown. The list contains 'Users'. A red arrow points to the list.

A red callout bubble with the text 'カラムが登録される' (Columns are registered) points to the list of columns in the 'File CSV datasource' dialog box, which includes 'Id', 'Username', 'Name', 'Email', 'Profile.Name', 'Profile.UserType', and 'CreatedBy.Name'.

2-4 帳票レイアウトの作成

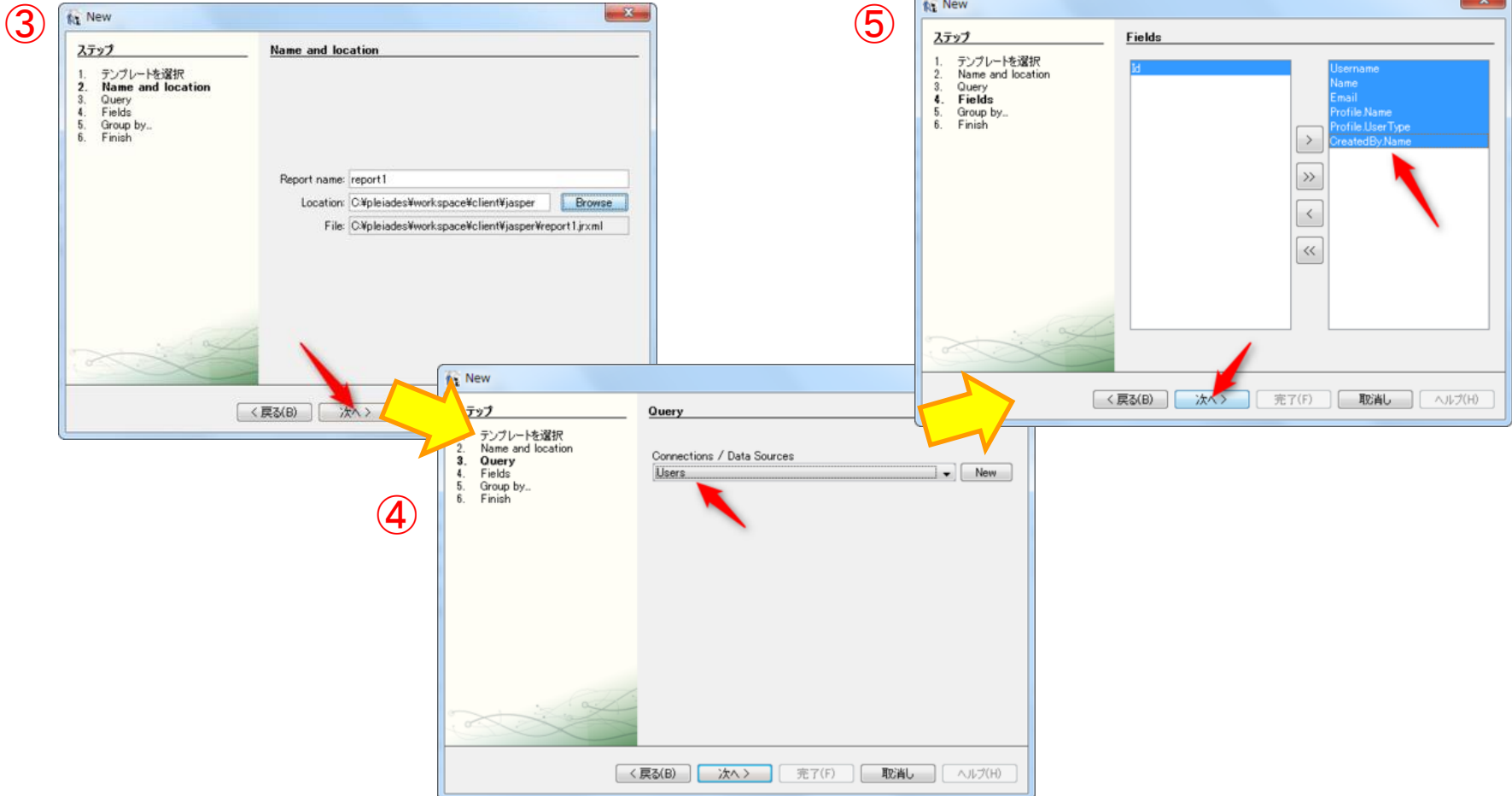
iReportを用いて帳票レイアウトを新規に作成する手順です。

- ① メニューの「ファイル(F)」から、「New...」を選択します。
- ② New fileダイアログで任意のテンプレートを選択し、「Launch Report Wizard」ボタンを押します。



2-4 帳票レイアウトの作成 (続き)

- ③ ReportName欄に帳票名、Location欄に帳票ファイルの保存先を入力し「次へ>」ボタンを押します。
- ④ Connections / Data Sources リストから、帳票に使用するデータソースを指定し「次へ>」ボタンを押します。
- ⑤ 帳票に使用するカラムをFieldsリストの右側に移動し「次へ>」ボタンを押します。



2-4 帳票レイアウトの作成 (続き)

- ⑥ グルーピングを行う場合、対象となるカラムをリストから指定し「次へ >」ボタンを押します。
- ⑦ 「完了(F)」ボタンを押します。
- ⑧ 帳票レイアウトファイル(.jrxml)が作成され、レイアウトデザイナーが表示されます。

⑥

⑦

⑧

2-4 帳票レイアウトの作成 (続き)

- ⑨ 作成した帳票レイアウトのプロパティの「Language」を[Java]に設定し、保存します。

⑨

The screenshot shows the Jaspersoft iReport Designer 3.7.6 interface. The 'Report Inspector' on the left lists various report elements. The main preview area displays a report layout with a title 'Cherry Title' and subtitle 'Cherry SubTitle'. The 'report1 - プロパティ' (Properties) window is open on the right, showing various configuration options. The 'Language' property is highlighted, and its value is 'Java'. A red arrow points to the 'Language' dropdown in the 'report1 - プロパティ' window. A red dashed line connects this to a callout box that shows the 'Language' property set to 'Java' and includes the text 'The language used in all the expressions.'

When No Data: No Pages

Language: Java

Format Factory Class: No imports set

Imports: No imports set

Language: The language used in all the expressions.

2-5 jrxmlファイルの登録

帳票オブジェクトが使用するレイアウトを指定するために、jrxmlファイルを添付する必要があります。

- ① 作成した帳票オブジェクトを開き、「ファイル添付」ボタンを押します。
- ② iReportで作成したjrxmlファイルを選択し、「ファイル添付」ボタンを押します。
- ③ 添付されたファイル名を確認後、「完了」ボタンを押します。

①



帳票の詳細

帳票名 ユーザーリスト 所有者 ReportsConnect管理 katsusuke [変更]

SQL SELECT Id, Username, Name, Email, Profile Name, Profile UserType, CreatedBy Name FROM User order by Profile UserType, Profile Name

親JRXMLファイル名
パラメーター
ファイル名
管理用レコード ☐

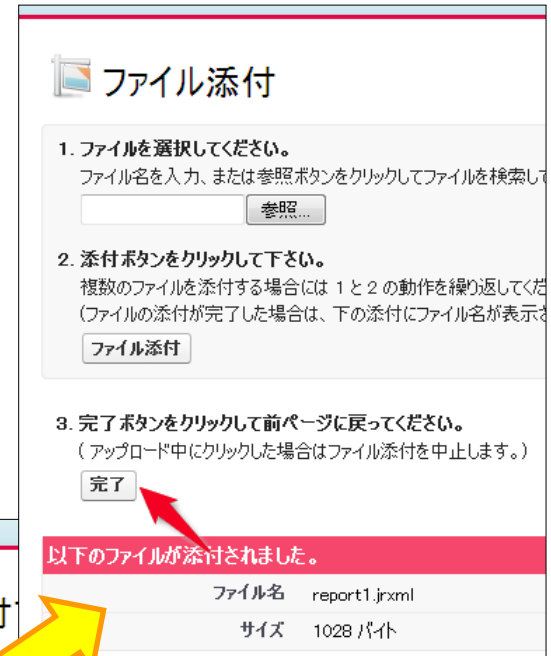
作成者 ReportsConnect管理 katsusuke, 2012/10/30 16:38 最終更新者 ReportsConnect管理 katsusuke, 2012/10/30 16:38

編集 削除 コピー 承認申請

メモ & 添付ファイル 新規メモ ファイル添付

表示するレコードはありません

③



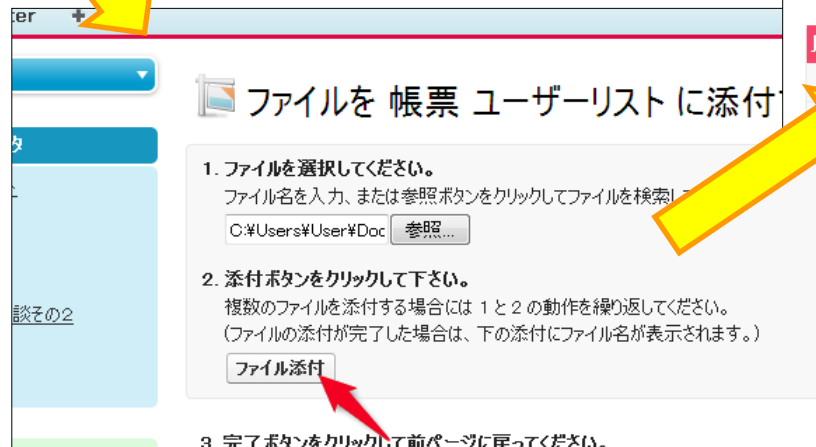
ファイル添付

1. ファイルを選択してください。
ファイル名を入力、または参照ボタンをクリックしてファイルを検索して
 参照...
2. 添付ボタンをクリックして下さい。
複数のファイルを添付する場合には 1 と 2 の動作を繰り返してください。
(ファイルの添付が完了した場合は、下の添付にファイル名が表示されます)
ファイル添付
3. 完了ボタンをクリックして前ページに戻ってください。
(アップロード中にクリックした場合はファイル添付を中止します。)
完了

以下のファイルが添付されました。

| ファイル名 | report1.jrxml |
|-------|---------------|
| サイズ | 1028 バイト |

②



ファイルを帳票ユーザーリストに添付

1. ファイルを選択してください。
ファイル名を入力、または参照ボタンをクリックしてファイルを検索して
C:\Users\User\Doc 参照...
2. 添付ボタンをクリックして下さい。
複数のファイルを添付する場合には 1 と 2 の動作を繰り返してください。
(ファイルの添付が完了した場合は、下の添付にファイル名が表示されます。)
ファイル添付
3. 完了ボタンをクリックして前ページに戻ってください。

2-5 jrxmlファイルの登録 (続き)

④ メモ&添付ファイルの一覧にファイルが追加されたことを確認します。

④



帳票名 ユーザーリスト 所有者 ReportsConnect管理 katsusuke [変更]

SQL SELECT Id, Username, Name, Email, Profile.Name, Profile.UserType, CreatedBy.Name FROM User order by Profile.UserType, Profile.Name

親JRXMLファイル名
パラメーター
ファイル名
管理用レコード ☐

作成者 ReportsConnect管理 katsusuke, 2012/10/30 16:38 最終更新者 ReportsConnect管理 katsusuke, 2012/10/30 16:38

編集 削除 コピー 承認申請

メモ & 添付ファイル 新規メモ ファイル添付 すべて表示

| アクション | 種別 | 題名 | 最終更新 | 作成者 |
|--------------|--------|---------------|------------------|----------------------------|
| 編集 参照 削除 | 添付ファイル | report1.jrxml | 2012/10/30 17:46 | ReportsConnect管理 katsusuke |

へ先頭に戻る 関連リスト毎の表示件数を常に ▼増やす

注意

※ 帳票レイアウト上で画像等を使用している場合、それに応じてファイルを添付する必要があります。



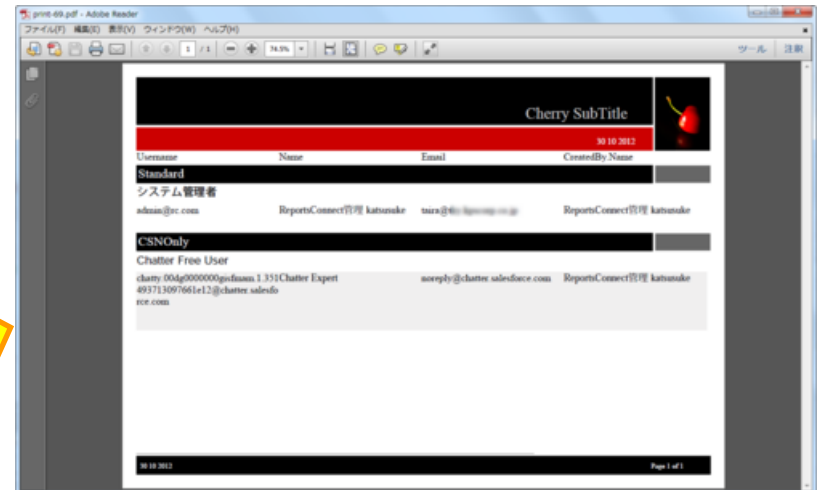
メモ & 添付ファイル 新規メモ ファイル添付 すべて表示

| アクション | 種別 | 題名 | 最終更新 | 作成者 |
|--------------|--------|---------------|------------------|----------------------------|
| 編集 参照 削除 | 添付ファイル | cherry.jpg | 2012/10/30 18:01 | ReportsConnect管理 katsusuke |
| 編集 参照 削除 | 添付ファイル | report1.jrxml | 2012/10/30 17:59 | ReportsConnect管理 katsusuke |

2-6 印刷テスト

実際にpdfを出力した確認が可能です。

- ① 作成した帳票オブジェクトを開き、「印刷テスト」ボタンを押します。
 - ② テストが成功した場合、pdfファイルのダウンロードを開始します。
- ※ダウンロードページはタイトル、画像等のカスタマイズが可能です。



注意

- ※ 印刷テストに失敗しエラーが発生した場合、「データの確認」ボタンを押すことで、問題解決へのヒントが得られます。
→参照:P36（帳票テスト時にエラーが発生したら）

2-7 補足

① ユーザー外字機能について

ReportsConnectではWindows上で作成したユーザー外字を使用することが出来ます。手順は以下の通りです。

1. 外字フォントファイル(c:\¥Windows¥fonts¥EUDC.TTE)を任意のフォルダにコピーし、EUDC.ttfという名称に変更します。
※コピーにはコマンドプロンプトを使用します。
例) cp c:\¥Windows¥Fonts¥EUDC.TTE c:\¥work¥EUDC.ttf
2. コピーしたEUDC.ttfファイルを帳票オブジェクトに添付します。

② IPAmj明朝フォントについて

ReportsConnectではIPAmj明朝フォントの一部（約5万1千文字分）を使用する事が出来ます。手順は以下の通りです。

1. iReportでjrxmlファイルを開きます。
2. フォントのプロパティの項目を下記の通りに設定します。
Font name: IPAmj明朝
PDF Font name: Times-Roman
PDF Embeted: true
PDF Encording: Identity-H

※事前にお使いのPCにIPAmj明朝フォントをインストールする必要があります。

IPAmj明朝フォントダウンロードページ

<http://ossipedia.ipa.go.jp/ipamjfont/download.html>

3-1 RPCConnectコンポーネントを使った簡易実装

ReportsConnectのパッケージには印刷ボタンを提供するコンポーネント「RPCConnect」が含まれています。RPCConnectコンポーネントをページ上に配置することで、印刷機能を実装する事ができます。

① VisualForceページ上に<kpsr:RPCConnect reportId="(帳票オブジェクト名)" />を記述します。

①

Visualforce ページ
UserlistPrint

ページの編集 [保存] [適用] [キャンセル] [使用場所] [コンポーネントの参照]

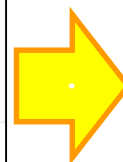
ページ情報

表示ラベル UserlistPrint
名前 UserlistPrint
説明

Visualforce Markup Version Settings

```

1 <apex:page >
2   <apex:form >
3     <apex:pageBlock >
4       <apex:pageBlockButtons location="top">
5         <kpsr:RPCConnect reportId="ユーザーリスト" />
6       </apex:pageBlockButtons>
7       <label>DataCheck</label>
8       <input type="text" name="ksp_datacheck" value="" />
9     </apex:pageBlock>
10  </apex:form>
11 </apex:page>
    
```



印刷

DataCheck

<kpsr:rpconnect> コンポーネント属性説明

| 名称 | 型 | 説明 |
|-------------|---------|---|
| buttonvalue | String | ボタンに表示されるテキストです。 |
| id | String | ページで他のコンポーネントがこのコンポーネントを参照できるようにする識別子です。 |
| rendered | Boolean | コンポーネントがページで表示されるかどうかを指定する Boolean 値です。指定しない場合、この値はデフォルトで true になります。 |
| reportId | String | 呼び出し対象となる帳票オブジェクトのIDまたは名前を指定するString値です。 |

参考 ReportsConnectパッケージ内にサンプルページ「ReportsTest」がございます。

3-2 SOQLを動的に変更する

データの抽出条件など変更したいとき、パラメータを渡すことでSOQLを動的に変更する事が可能です。

- ① SOQL内に":(パラメータ名)"を追加します。
- ② 置換したいSOQL文をリクエストパラメータとして渡します。

①



帳票の編集
ユーザーリスト

帳票の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

情報

帳票名 ユーザーリスト 所有者 ROblog 管理者

SOQL
SELECT Id, Username, Name, Email, Profile.Name,
Profile.UserType, CreatedBy.Name FROM User
order by Profile.UserType, Profile.Name :condition

条件 JRXMLファイル名

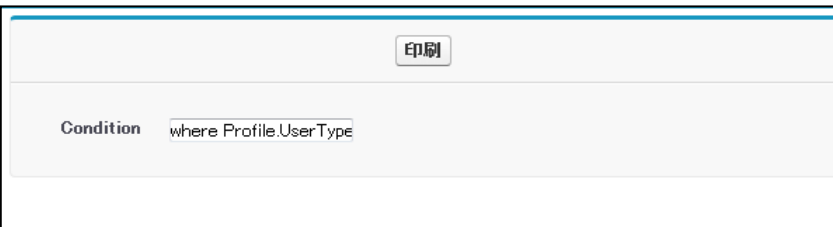
パラメータ

ファイル名

管理用レコード ☐

[保存] [キャンセル]

②



印刷

Condition where Profile.UserType

(VisualForceページ上のTextBoxから動的にwhere条件を付加する例)

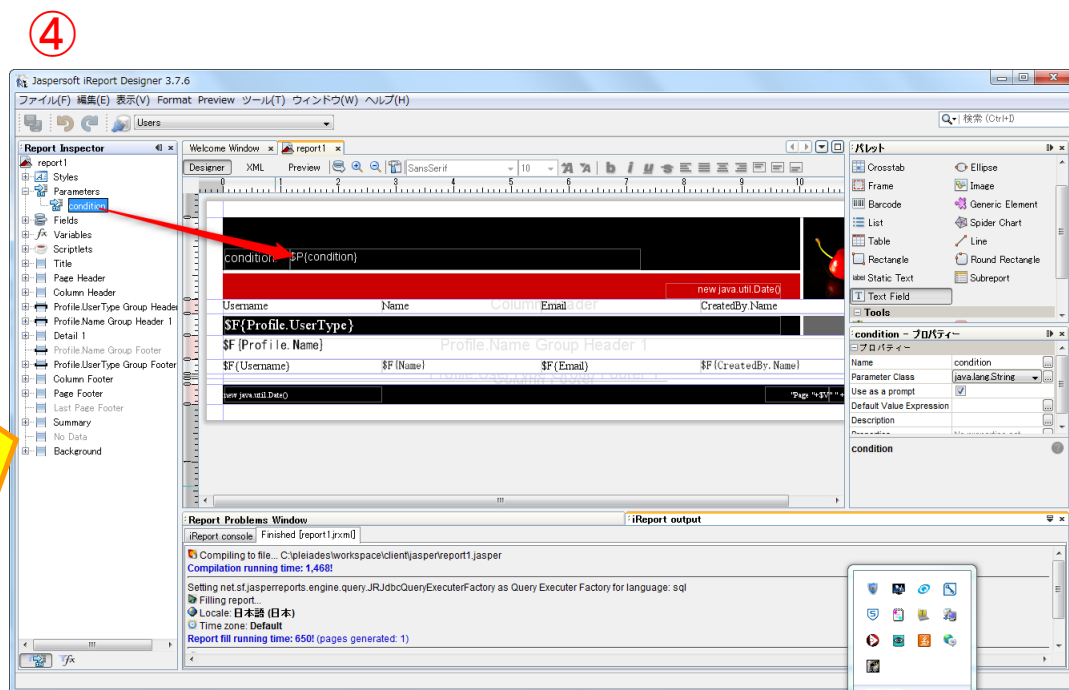
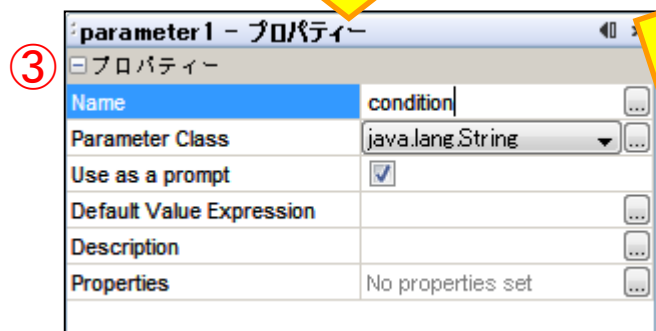
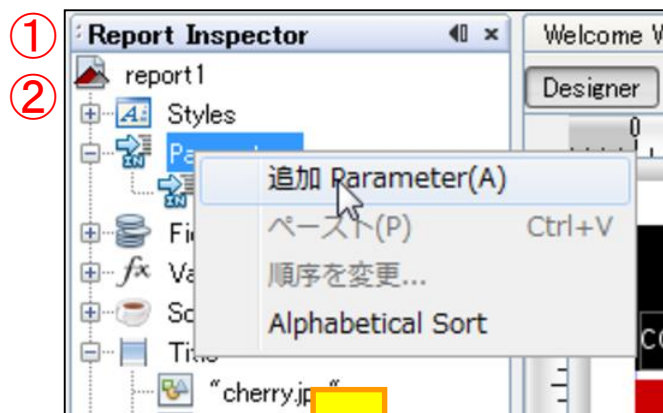
サンプルページソース

```
<apex:page >
  <apex:form >
    <apex:pageBlock >
      <apex:pageBlockButtons location="top">
        <kpsr:RPCConnect reportId="ユーザーリスト" />
      </apex:pageBlockButtons>
      <label>Condition</label>
      <input type="text" name="condition" value="" />
    </apex:pageBlock>
  </apex:form>
</apex:page>
```

3-3 パラメータを帳票に出力する

パラメータを帳票上に出力することができます。

- ① iReportでjrxmlファイルを開き、Report Inspectorウィンドウから「Parameters」を右クリックします。
- ② 「追加 Parameter(A)」を選択します。
- ③ 追加したParameterの「Name」プロパティにパラメータ名を入力します。
- ④ 追加したParameterをレイアウト上にドラッグ&ドロップします。



3-4 Apexから印刷要求を行う

ReportsConnectControllerクラスを使用することで、Apexコードによる印刷要求を行う事が可能です。

ReportsConnectController クラス概要

| メソッド | 説明 |
|---|--|
| String getLicenseName() | 取得しているライセンス名を返します。 |
| String getParentId() | 添付対象のオブジェクトIDを返します。 |
| MAP getParms() | パラメータのマップを返します。 |
| String getReportId() | 使用する帳票オブジェクトのIDまたは名前を返します。 |
| String getReturnUrl() | 遷移先のURLを返します。 |
| String getSoql() | データを取得するためのSOQL文を返します。 |
| System.PageReference goPrint() | 帳票の印刷要求を行います。 |
| void setAttachments(LIST atts) | 添付ファイルのリストを追加します。 |
| void setAttcheTold(Boolean attcheTold) | idパラメーターのオブジェクトに対する、PDFファイルの自動添付機能のON/OFFを設定します。 |
| void setFilename(String filename) | 出力PDFファイル名を設定します。 |
| void setNull2Blank(Boolean null2Blank) | Null値の空文字置換機能のON/OFFを設定します。 |
| void setParentId(String parentId) | 添付対象のオブジェクトIDを設定します。 |
| void setReport(SOJECT:kpsr__Report__c rp) | 帳票オブジェクトを追加します。 |
| void setReportId(String reportId) | 使用する帳票オブジェクトのIDまたは名前を設定します。 |
| Void setReports(LIST rps) | 連結して出力する帳票オブジェクトのリストを設定します。 |
| void setReturnUrl(String returnUrl) | 遷移先のURLを取得します。 |
| void setSoql(String soql) | データを取得するためのSOQL文を設定します。 |
| プロパティ | 説明 |
| String goUrl | ReportsConnectサーバーに帳票処理を引き渡すためのURLを設定および取得します。 |

3-4 Apexから印刷要求を行う（続き）

ReportsConnectControllerクラスを使用したコードサンプルです。

- ① **setReportId()**により帳票オブジェクト名を指定。
- ② 動的に生成したSOQLを**setSoql()**より設定。
※**getParms()**で取得したMapに任意のパラメータを追加することも可能です。
- ③ **goPrint()**により印刷要求。
- ④ **goUrl**に処理用のURLを渡し、JavaScriptを用いて別画面表示。

VisualForceページ

```
<apex:page controller="Userlist">
  <apex:pageMessages id="msg"></apex:pageMessages>
  <apex:form >
    <apex:pageBlock >
      <apex:pageBlockButtons location="top">
        <apex:selectList size="1" value="{!ptype}">
          <apex:selectOption itemValue="Standard"
            itemLabel="Standard"/>
          <apex:selectOption itemValue="all" itemLabel="全件"/>
        </apex:selectList>
        <apex:commandButton action="{!goPrint}" value="印刷"
          reRender="theBlock,msg" status="status" />
        <apex:actionStatus startText="Requesting..." id="status"/>
      </apex:pageBlockButtons>
    </apex:pageBlock>
  </apex:form>
  <apex:outputPanel id="theBlock">
    <script type="text/javascript">
      if ("{"!goUrl}" != ""){
        ④ window.open("{!goUrl}",null,"scrollbars=no,width=1000,height=400");
      }
    </script>
  </apex:outputPanel>
</apex:page>
```

コントローラー側のApexコード

```
public with sharing class Userlist {

  public String ptype { get; set; }

  private kpsr.ReportsConnectController rc;

  public Userlist(){
    rc = new kpsr.ReportsConnectController();
    ① rc.setReportId('ユーザーリスト');
  }

  public String goUrl { get; set; }

  public PageReference goPrint() {

    String ql = 'SELECT Id, Username, Name, Email, Profile.Name,
      Profile.UserType, CreatedBy.Name FROM User ';
    if(ptype == 'Standard'){
      ql = ql + 'where Profile.UserType=¥'Standard¥'
        order by Profile.UserType, Profile.Name';
    } else {
      ql = ql + 'order by Profile.UserType, Profile.Name';
    }
    ② rc.setSoql(ql);
    ※ rc.getParms().put('condition',ptype);
    ③ rc.goPrint();
    ④ this.goUrl = rc.goUrl;
    return null;
  }
}
```

3-5 帳票PDFをオブジェクトに添付する

出力された帳票PDFをダウンロードする形式の他、帳票PDFを任意のオブジェクトに添付することが出来ます。

- ① 帳票オブジェクト編集画面で、「idパラメータのオブジェクトに添付」欄のチェックをオンにします。
- ② "id"という名称で添付対象オブジェクトのidがリクエストパラメータに加わっている状態で、印刷処理を実行します。

①

帳票の編集
商品紹介

帳票の編集 保存 保存 & 新規 キャンセル

情報

帳票名 商品紹介 所有者 堤 孝志

ファイル名 親JRXMLファイル名

管理用レコード ☐ Nullを空文字に置換 ☐

idパラメータのオブジェクトに添付 ☒

SOQL/パラメータ

SOQL SELECT Image_c, ProductCode, Name, Family, Description FROM Product2 WHERE ProductCode = :id ORDER BY ProductCode

②

https://c.na11.visual.force.com/apex/OpportunityCtr?id=006G000000K8yZd

salesforce

ホーム Chatter 顧客 TabOppCstm +

商談 Burlington Textiles Weaving Plant Generator

帳票印刷

商品(Standard) [4] | 活動予定 [0] | 活動履歴 [0] | メモ & 添付ファイル [1] | 取引先責任者の役割 [0] | パートナー

商談の詳細

編集 削除 コピー

商談所有者 帳票 試行 [変更]

非公開 ☐

商談名 Burlington Textiles Weaving Plant Generator

取引先名 Burlington Textiles Corp of America

種別 New Customer

リードソース Web

金額 ￥785,000

期待収益 ￥785,000

完了予定日 2010/10/10

次のステップ フェーズ Closed

確度(%) 100%

主キャンペーンソース

Main Competitor(s)

Order No.

Current

表示 ありません

メールを送信

メモ & 添付ファイル

新規メモ ファイル添付 すべて表示

アクション 役割 更新 最終更新

編集 参照 削除 添付ファイル print.pdf 2013/02/01 15:49

商談 Burlington Textiles Weaving Plant Generator

帳票印刷

商品(Standard) [4] | 活動予定 [0] | 活動履歴 [0] | メモ & 添付ファイル [0] |

商談の詳細

編集 削除 コピー

商談所有者 帳票 試行 [変更]

非公開 ☐

3-6 複数の帳票をひとつのPDFにまとめて出力する

複数の異なる帳票を、ひとつのPDFに集約して出力することが可能です。

① 子帳票を集約するための親帳票オブジェクトを、新規作成します。

※例では「見積もり」と「商品紹介」の2つの子帳票をまとめた親帳票「見積もり商品紹介」を作成しています。

② 子帳票側オブジェクトの「親帳票」欄に①で作成したオブジェクト名を、「連結順」に出力時の並び順を入力します。

①

帳票の編集
見積もり商品紹介

帳票の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

情報

帳票名 | 見積もり商品紹介

所有者 RCblog 管理者 関

ファイル名

管理用レコード

親帳票

idパラメータのオブジェクトに添付

SQL/XMLパラメータ

SQL

②

帳票の編集
見積り

帳票の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

情報

帳票名 | 見積り

所有者 RCblog 管理者 関

ファイル名 estimate

管理用レコード

親帳票 見積もり商品紹介

idパラメータのオブジェクトに添付

SQL/XMLパラメータ

SQL

帳票の編集
商品紹介

帳票の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

情報

帳票名 | 商品紹介

所有者 RCblog 管理者 関

ファイル名

管理用レコード

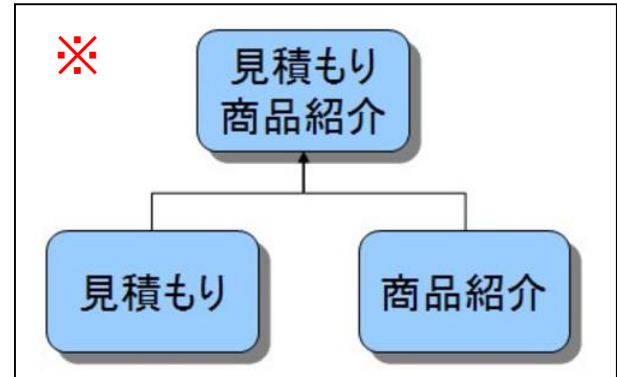
親帳票 見積り商品紹介

idパラメータのオブジェクトに添付

SQL/XMLパラメータ

SQL

※



注意

※ 子帳票間で同名のリクエストパラメータを使用している場合、正しく動作しない可能性があります。

4-1 ライセンス管理画面を表示する

ライセンス画面より、有料ライセンスのユーザーへの割り当てを行うことができます。
(※事前に有料ライセンスをお申し込みいただく必要があります。)

- ① 帳票オブジェクトを開き、「ライセンス管理」ボタンを押します。
- ② 「認証」ボタンを押します。
- ③ 認証処理画面を閉じます。

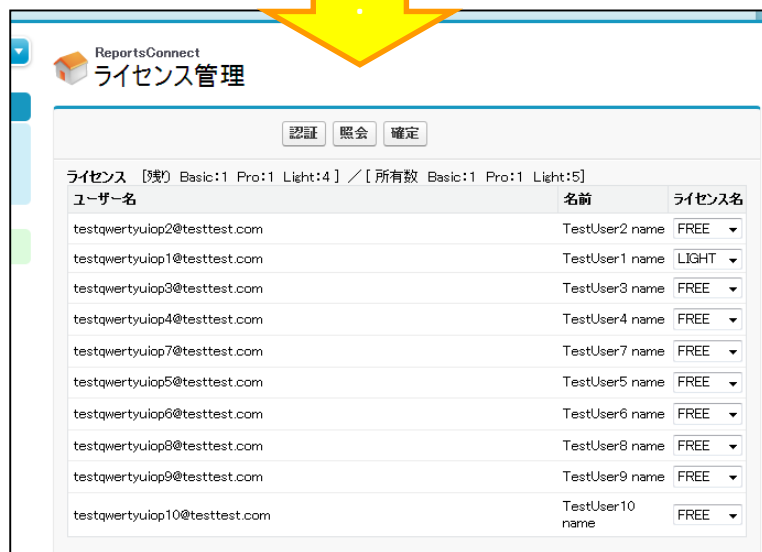
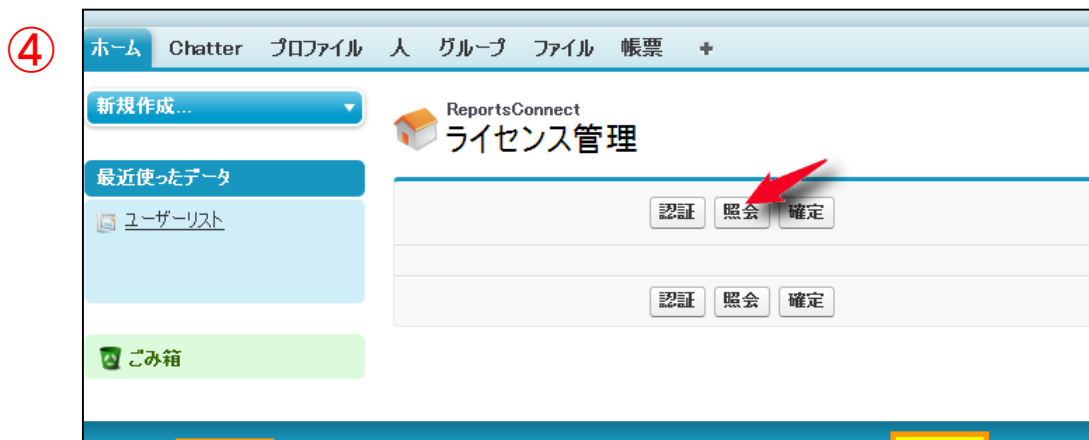


The screenshot illustrates the process of managing licenses in the ReportsConnect interface. It is divided into three numbered steps:

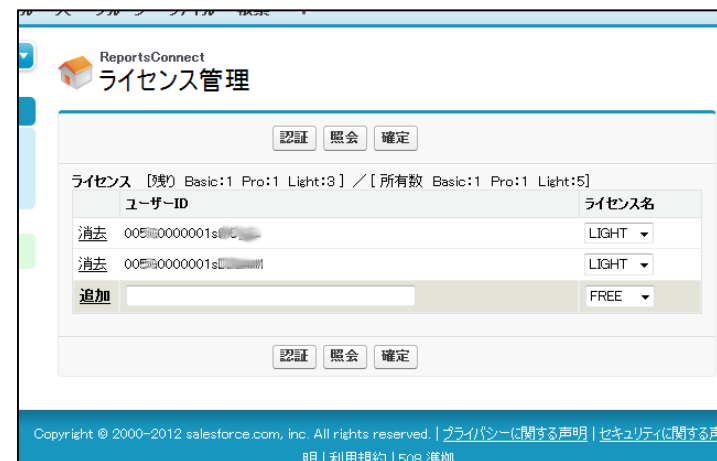
- Step 1:** The '帳票 (Report)' section is shown. The 'ユーザーリスト (User List)' tab is selected. The 'ライセンス管理 (License Management)' button is highlighted with a red arrow.
- Step 2:** The 'ライセンス管理 (License Management)' screen is displayed. The '認証 (Authenticate)' button is highlighted with a red arrow.
- Step 3:** The '認証処理 (Authentication Process)' screen is shown. The '閉じる (Close)' button is highlighted with a red arrow.

4-1 ライセンス管理画面を表示する（続き）

④「照会」ボタンを押します。



(標準ライセンス管理画面)



(OEM向けライセンス管理画面)

4-2 ユーザーにライセンスを割り当てる

各ユーザーのライセンスは管理画面から随時変更が可能です。

- ① 「ライセンス名」リストから割り当てるライセンスを選択します。
- ② 「確定」ボタンを押します。
- ③ 「変更が確定されました。」メッセージが表示されれば完了です。

①

| | | |
|------------------------------|----------------|-------|
| testqwertyuiop1@testtest.com | TestUser1 name | LIGHT |
| testqwertyuiop3@testtest.com | TestUser3 name | LIGHT |
| testqwertyuiop4@testtest.com | TestUser4 name | FREE |
| testqwertyuiop7@testtest.com | TestUser7 name | BASIC |
| testqwertyuiop5@testtest.com | TestUser5 name | PRO |
| | | LIGHT |
| | | FREE |

②

ReportsConnect
ライセンス管理

認証 照会 確定

ライセンス [残り Basic:1 Pro:1 Light:3] / [所有数 Basic:1 Pro:1 Light:5]

| ユーザー名 | 名前 |
|------------------------------|----------------|
| testqwertyuiop2@testtest.com | TestUser2 name |

③

ReportsConnect
ライセンス管理

変更が確定されました。

認証 照会 確定

ライセンス [残り Basic:1 Pro:1 Light:3] / [所有数 Basic:1 Pro:1 Light:5]

| ユーザー名 | 名前 | ライセンス名 |
|------------------------------|----------------|--------|
| testqwertyuiop2@testtest.com | TestUser2 name | FREE |

4-3 ユーザーにライセンスを割り当てる（OEM向け）

OEM向けライセンスの割り当てには、ユーザーIDを直接入力する必要があります。

- ① リスト下部にユーザーIDを入力し、ライセンス名リストから割り当てるライセンスを選択します。
- ② 「追加」ボタンを押し、一覧にユーザーを追加します。
- ③ 手順①～②を繰り返し、ユーザーの追加が完了したら「確定」ボタンを押します。

①

ReportsConnect
ライセンス管理

認証 照会 確定

ライセンス [残り Basic:1 Pro:1 Light:3] / [所有数 Basic:1 Pro:1 Light:5]

| ユーザーID | ライセンス名 |
|------------------------|--------|
| 消去 005G00000001s8ICIAQ | LIGHT |
| 消去 005G00000001sDZtIAM | LIGHT |
| 追加 005X1234567pW23AbC | FREE |

認証 照会 確定

②

ReportsConnect
ライセンス管理

認証 照会 確定

ライセンス [残り Basic:1 Pro:1 Light:3] / [所有数 Basic:1 Pro:1 Light:5]

| ユーザーID | ライセンス名 |
|------------------------|--------|
| 消去 005G00000001s8ICIAQ | LIGHT |
| 消去 005G00000001sDZtIAM | LIGHT |
| 追加 005X1234567pW23AbC | BASIC |

③

ReportsConnect
ライセンス管理

認証 照会 確定

ライセンス [残り Basic:0 Pro:1 Light:3] / [所有数 Basic:1 Pro:1 Light:5]

| ユーザーID | ライセンス名 |
|------------------------|--------|
| 消去 005G00000001s8ICIAQ | LIGHT |
| 消去 005G00000001sDZtIAM | LIGHT |
| 消去 005X1234567pW23AbC | BASIC |
| 追加 | FREE |

5-1 帳票保存時に「エラー：設定が必要です！～」と表示されたら

Reports Connectはherokuサーバーにアクセスするため、セキュリティの設定が必要です。
[設定]->[セキュリティのコントロール]->[リモートサイトの設定]とクリックして、指定のURLを設定して下さい。



リモートサイトの編集

リモートサイトの URL を入力します。すべてのSコントロール、カスタムボタンの JavaScript OnClick コマンド、APEX、AJAX プロキシ呼び出しが、Salesforce.com からこの Web アドレスにアクセスできるようになります。



5-2 ReportsConnect実行時、データへのアクセス権限を要求されたら

oAuth2.0の認証機能により、初回実行時にReportsConnectサーバーがforce.comのDBへアクセスする事に関する許可をユーザーに求めてきます。

「許可」ボタンを押して下さい。



5-3 帳票テスト時にエラーが発生したら

テスト時に例外が発生した場合、帳票画面の「データの確認」ボタンを押すことで、問題解決のヒントが表示されます。

The image illustrates the process of resolving an error during a report test. It consists of three main parts:

- Top Left:** A screenshot of a Mozilla Firefox browser window showing an "HTTP ERROR 500". The error message is "Problem accessing /dl2. Reason: org.codehaus.groovy.control.CompilationFailedException". The "Caused by:" section shows a stack trace starting with "java.lang.NoClassDefFoundError: org.codehaus.groovy.control.CompilationFailedException".
- Top Right:** A screenshot of a report preview window. A yellow arrow points to the "データの確認" (Check Data) button. The report title is "ユーザーリスト" (User List). The SOQL query is "SELECT Id, Username, Name, Email, Profile Name, Profile User Type, Created By Name FROM User order by Profile User Type, Profile Name".
- Bottom:** A screenshot of the "データの確認" (Check Data) dialog box. It displays the error message "以下の例外が発生しています！ org.codehaus.groovy.control.CompilationFailedException". A red callout bubble says "問題解決のためのヒントが出る" (Hint for problem solving). The hint text reads: "恐らくReportのプロパティのLanguageが'Groovy'になっています。'Java'に変更してください。iReportで上記修正を行った上で、修正したjrxmlファイルを再度帳票オブジェクトに添付してください。" (It is likely that the Language property of the Report is 'Groovy'. Please change it to 'Java'. After making the above correction in iReport, please attach the corrected jrxml file to the report object again.)

Reports Connectに関するご質問

ReportsConnectのサポートフォーラムをご利用ください。

URL : <http://0bbs.jp/rpconnect/>

その他のお問い合わせ

資料請求・お問い合わせはこちらから(平日10 時～ 17 時 担当:木下)

TEL : 03-3360-6113

FAX : 03-3360-3351

Mail : force1@mail.kpscorp.jp

技術支援

(株)ケーピーエスではForce.comに関する技術支援もおこなっております。

URL : <http://techsupport.kpscorp.jp>